

ILSI Japan 活動報告<2022>

栄養健康研究会

【栄養研究部会】

1, 2 月	<p>1. 2022 年度 第 1 回目の部会を Web (Zoom) で開催 (2 月 2 日、10:00~11:35) し、第 10 回 ILSI Japan ライフサイエンス・シンポジウム (3/3) 開催後の活動について打ち合わせた。</p> <p>① 「イルシー」誌へのシンポジウムフラッシュ・レポート原稿 (5 月中頃締切、8 月出版) : 各演題の担当者を確認・共有した。</p> <p>② シンポジウム開催後の栄養研究部会の活動の方向性</p> <p>➤ 今後のテーマ、スケジュール、セミナーの有料化・無料化等については、第 10 回 ILSI Japan ライフサイエンス・シンポジウムの収支やアンケート結果を把握してから検討することにした。</p> <p>2022 年度の第 2 回目の部会は、4 月に開催することにした。</p>
3, 4 月	<p>1. 第 10 回 ILSI Japan ライフサイエンス・シンポジウム「コロナ禍およびポストコロナにおける健康寿命延伸のための栄養と身体活動」を Zoom ウェビナーにて開催</p> <p>2. 日時 : 2022 年 3 月 3 日、9:30~16:55</p> <p>3. 参加登録数 : 315 名</p> <p>4. プログラム</p> <p>【基調講演】疾患横断的エビデンスに基づく健康寿命延伸のための提言 (第一次) (医薬基盤・健康・栄養研究所 理事、国立健康・栄養研究所 所長 津金 昌一郎先生)</p> <p>【シンポジウム 1】「テーマ : 免疫と栄養・運動」</p> <p>① 免疫システムを介した生体防御と必須栄養素の働き (医薬基盤・健康・栄養研究所ワクチン・アジュバント研究センター センター長 ワクチンマテリアルプロジェクト&腸内細菌システムプロジェクトプロジェクトリーダー 國澤 純先生)</p> <p>② 免疫機能を高める食品 (十文字学園女子大学 人間生活学部 食品開発学科 教授 辻 典子先生)</p> <p>③ 新型コロナウイルス感染症と栄養 (徳島大学大学院医歯薬学研究部(医学域) 教授 酒井 徹先生)</p> <p>④ 身体活動と免疫 (早稲田大学 スポーツ科学学術院 教授 鈴木 克彦先生)</p> <p>⑤ 総合討論 (モデレーター : 東京大学名誉教授、東京農業大学客員教授 清水 誠先生)</p> <p>【シンポジウム 2】「テーマ : コロナ禍およびポストコロナでの運動と栄養」</p> <p>① コロナ禍でフレイルをどう捉えるか (高崎健康福祉大学 保健医療学部 准教授 篠原智行先生)</p> <p>② コロナ禍における身体活動量低下とフレイル化 (筑波大学大学院 人間系 教授 山田 実先生)</p> <p>③ コロナ禍における食事と健康 (国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター 部長 大塚 礼先生)</p> <p>④ コロナ禍における睡眠 (明治薬科大学 薬学部 准教授 駒田 陽子先生)</p>

	<p>⑤ アスリートにおける免疫機能低下とその対策 (獨協医科大学 基本医学基盤教育部 門 講師 枝 伸彦先生)</p> <p>総合討論 (モデレーター: 早稲田大学 教授、医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所 身体活動研究部部長 宮地 元彦先生)</p>
5, 6 月	<p>1. 第 10 回 ILSI Japan ライフサイエンス・シンポジウムのフラッシュ・レポートの原稿を事務局に提出した。</p> <p>2. 2022 年度の栄養研究部会の部会を Zoom にて開催 (5 月 26 日 13:00~14:15) し、今後について意見交換した。方針は以下の通り。</p> <p>① 今後は、有料の公開セミナーを開催する方向で考える。なお、セミナー参加における ILSI Japan 会員のメリット (参加費等を含めたメリット) を考慮する。</p> <p>② テーマ設定については、昨年の会員向け勉強会と 3 月のライフサイエンス・シンポジウムで実施したアンケート調査結果を参考に、ILSI Japan の会員企業が増えることも考慮して検討を進める。</p> <p>複数の案の中から、先ずテーマを「世代別の栄養」(案)とし、セミナーのシリーズ化を検討することとした。</p>
7, 8 月	<p>栄養研究部会の部会に、アドバイザーの宮地先生と桑田先生にも参加していただき、今後のセミナーのテーマについて、意見交換した (7 月 25 日、13:00~14:15、Zoom)。</p> <p>セミナーの切り口について: 「健康寿命延伸」という目標に向け、あらゆる世代のヘルスリテラシーを向上させるために、世代別の健康・栄養の課題を取り上げ、科学的エビデンスを基にそれらの対策について議論するセミナーを企画・開催する。</p> <p>セミナーの題目 (案) について: 「健康寿命延伸に向け、各世代で解決すべき課題と対策とは」、「将来のサルコペニア・フレイルの予防のため、解決すべき各世代での課題と対策とは」の 2 案とした。</p> <p>上記 1 の進捗状況を報告するため、「イルシー」誌 152 号に、「研究会トピックス 栄養研究部会 2021 年の活動の振り返りと今後の活動について」と題した原稿を投稿した (8 月 20 日)。</p>
9, 10 月	<p>1. 9 月の部会開催 (9 月 8 日、13:00~14:30、Zoom)</p> <p>「研究会トピックス 栄養研究部会 2021 年の活動の振り返りと今後の活動について」と題して「イルシー」誌 152 号に寄稿した原稿の内容を情報共有し、来年度 (2023 年) の活動方針について意見交換した。</p> <p>2. 10 月の部会開催 (10 月 6 日、15:00~16:35、Zoom)</p> <p>部会に、栄養研究部会のアドバイザーである宮地先生、桑田先生、清水先生、中江先生にもご参加いただき、栄養研究部会が主催する今後の有料セミナーのテーマについて、意見交換した。また、セミナー実施後の成果 (英文での発信、オンデマンド配信等) についても、意見交換した。</p>
11, 12 月	<p>3. 11 月の部会開催 (11 月 7 日、10:00~11:30、Zoom)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 来年 (2023 年) の活動方針について意見交換した。 • 第 1 回目の有料公開セミナーを「妊産婦や乳児栄養の分野」で開催することにした。 • セミナーの立案に向け、「妊産婦のための食生活指針」(2006 年) の改定 (2021 年) に携われた専門家の先生を訪問し、アドバイスをいただいた (11 月 17 日、森永乳業)。 <p>4. 12 月の部会開催 (12 月 8 日、15:00~16:20、Zoom)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 専門家の先生との面談内容 (11/17) を部会にフィードバックし、意見交換し、具

体的な方向性を共有した。

2023年 第1回 ILSI Japan アカデミックセミナー「世代別の健康と栄養」(仮)の案内状(案)の作成を開始した。